

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 19-020								
PDCA	事務事業名	子育て支援事業	部課等名 健康子ども部 子育て支援課 子育て支援センター	担当 柳原(結) 内線等 22-4188				
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策： 1. 子育て・子育て支援 単位施策： (1) 子育て家庭への支援 個別施策： ①地域における子育て支援						
	根拠法令等	子ども子育て支援法、児童福祉法、半田市市民交流センター条例						
	対象・目的	未就学の子とその親を対象に、子どもの健やかな育ちと親の子育て力の向上とともに、地域全体で子育てをする意識の醸成を図り、誰もが安心して子育てができる環境づくりを推進する。						
	目的を達成するための手段・活動内容	地域支援活動の際に子育て支援センターの利用を促すとともに、赤ちゃん全戸訪問時に民生児童委員の協力を得るなどして、情報を届け、事業利用につなげる。ファミリーサポート事業について、保育士OBの活用など援助会員の増を図るとともに、様々な機会を捉えて加入PRIに努める。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位		
		①はんだっこ年間開館日	346	346	346	日		
		②子育てに関する個別相談件数	452	422	476	件		
		③ファミリーサポートセンター活動件数	3,346	3,125	3,340	件		
		事業費	23,044	25,579	24,345	千円		
		人件費	37,930	35,881	31,691	千円		
		総事業費	60,974	61,460	56,036	千円		
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①「プレイランド」利用者1人当たりのコスト	733	757	767	円			
	②乳幼児一時預かりの1回あたりの利用コスト	7,528	7,711	8,103	円			
	③ファミリーサポート事業の活動1件あたりのコーディネートコスト	3,625	3,865	2,853	円			
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
		①プレイランド登録率	実績値	79.0	78.0	77.0	%	
目標値			80.0	80.0	80.0			
②一時預かり利用子ども数		実績値	1,844	1,861	1,775	人		
		目標値	2,150	2,150	2,150			
③ファミリーサポート援助会員ひとりあたりの依頼会員数		実績値	2.8	2.6	2.58	人		
	目標値	2.4	2.4	2.4				
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		B						
		ファミリーサポートセンター事業については、依頼案件をすべてコーディネートし、事業を円滑に実施するとともに、援助会員の確保に努めた。乳幼児一時預かり事業については、利用者は減少しているが、当日予約でも受け入れるなど柔軟に対応することで、保護者の育児負担の軽減に資することができた。プレイランドについては、登録率、利用者数ともに減少しているため、利用者のニーズを把握し、講座内容や事業内容の見直しが必要。						
		改善推進						
		ファミリーサポートセンター事業については、依頼会員のニーズに対応できるよう、若い世代の援助会員の確保及び資質の向上に努める。子育て支援事業では、民間活力を活かした子育て支援を推進するため、地域の実情に応じて、地域で活動する子育て団体等のネットワーク化を図る。また、講座内容を見直し、市民ニーズに合った講座を企画・実施する。すべての事業について、より安心で安全な事業を実施していく。						
		今後の事業の方向性						
			令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位	
①プレイランド登録率	80			%				
②一時預かり利用子ども数	1,900			人				
	③ファミリーサポート援助会員ひとりあたりの依頼会員数	2		人				
A 課題解決のための目標								